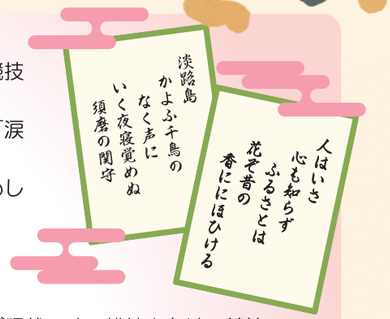
広報委員会特集記事 よさこい高知文化祭2026に行ってきました！



1986年に第１回が東京都で開催されて以来続く、国内最大の文化の祭典が国民文化祭です。
今年は初の高知県開催！私たち広報委員会が取材した、南国市で開催された行事を紹介します！

❶黒岩涙香記念 小倉百人一首競技かるた全国大会



10月31日㈯・11月1日㈰、スポーツセンターで「黒岩涙香記念小倉百人一首競技かるた全国大会」が開催されました。

全国各地や海外から選手が集まり、熱戦を繰り広げました。大会のサブテーマは「涙香もすなるかるたといふものを、世界中でもしてみむとてするなり」。

開会式では平山市長から『土佐日記』の冒頭「男もすなる日記といふものを、女もしてみむとてするなり」にちなむ挨拶がありました。

今回は、大会委員長の松﨑さんと高知県代表の秋田さんにお話を伺いました。

札から広がる競技かるたの輪


大会委員長 松﨑さん

高知県内の競技かるた人口は、全国と比べて少ないのが現状です。松﨑さんは、競技かるたの魅力は、百人一首の歌の情景や言葉の美しさに触れられること、集中力や判断力が求められる奥深さにあると話します。

全国や海外の選手が集まる大会では、世代や地域を越えた交流が生まれ、互いに学び合えることも大きな魅力です。

「まずは札に触れて、百人一首の世界を楽しんでほしい」と、普及への思いを語ってくれました。

百人一首がつないだ夢


高知県代表 秋田さん

高知県代表として出場した高知大学４年生の秋田夕葵さん。大学入学時、友人が大学の百人一首同好会に入っており、一緒にハマったことがきっかけで夢中になりました。百人一首や古典が好きで、歌が読まれる音や会場の雰囲気も魅力だといいます。

現在は普及活動にも力を入れ、将来は国語の教師、そして歌を読み上げる「読手」を目指しています。

百人一首の魅力が次の世代へとつながっていきます。

❷日本鶏の魅力再発見！シンポジウム－みんなで学ぶ鶏たちの世界－



10月31日㈯、地域交流センターMIARE! で「日本鶏の魅力再発見！シンポジウム-みんなで学ぶ鶏たちの世界-」が開催されました。県内外から集まった講演者の皆さんが、日本人と鶏にまつわる歴史や文化などの研究成果を発表しました。

１階エントランスでは写真やはく製、鶏の本を集めた出張図書館など興味深い展示がたくさん！南国市で飼育されたオナガドリの生体展示と、シャモ番長まで登場し、子どもから大人まで楽しみながら学べる一日となりました。

今回は、オナガドリ飼育者の田村さんにお話を伺いました。

自分のできることで地域に恩返しを


田村さん

仕事で全国各地を飛び回り、高知を長く離れることも多かったという田村さん。ある日、国分川沿いで目にした美しい夕焼けに心を打たれ、改めて故郷の良さを実感。「育ててくれた地元や世間に恩返しをしたい」と思うようになったそうです。

その後、県内の日本鶏の飼育者が高齢化や後継者不足で減少していることを新聞で知り、周囲の人々との縁もあって、オナガドリの飼育を始めました。

次の世代へつなぐ地域の宝



高知県が実は「鶏王国」と呼ばれていることをご存じですか？ 日本鶏の主な38品種のうち、8品種が高知県原産です。その中でも、国の特別天然記念物に指定されている「土佐のオナガドリ」は、日本鶏の中でも特別な存在です。

田村さん自身も、子どもの頃は特別天然記念物を個人で飼育できるとは思っていなかったそうです。現在は南国市を通じた飼料の支援なども受けながら、飼育を続けています。「一人でも多く、若い人が興味を持ってくれたら。」田村さんは、オナガドリの魅力を多くの人に知ってもらい、次の世代へとつながっていくことを願っています。

第58回 南国市民賞

教育文化功労　１名　　社会福祉功労　１名



11月3日「文化の日」に、それぞれの分野で顕著な実績と功績が認められる市民・団体に授与される市民賞の授与式を行いました。

今年は、教育文化の分野で村上隆夫さんが、社会福祉の分野で澤村正彦さんが受賞されました。

教育文化功労



村上　隆夫 さん
（岡豊町小蓮）

平成16年から岡豊地区健康文化都市づくり推進協議会の会長を務め、地域コミュニティの基盤づくりに献身的に取り組んでこられました。

また、土佐のまほろば地区振興協議会会長として「第1回岡豊山さくらまつり」の開催に携わるなど、地域を盛り上げるイベントの実施に貢献されました。

南国市観光案内人の会の立ち上げにも従事され、幹事、会長を歴任しながら、歴史・文化に関する豊富な知識をもとに観光施設や史跡などを巡るウォークイベントガイドを務められ、地域の新たな見所の掘り起こしだけでなく、観光ガイドの育成にも精力的に取り組まれています。

連続テレビ小説「あんぱん」の放映の際には、やなせたかし先生ゆかりのスポットを巡るガイドコースを新たに造るなど、活動を通じて南国市の魅力を幅広く伝え、南国市の教育文化の振興に多大な貢献をされました。

社会福祉功労



澤村　正彦 さん
（久礼田）

平成21年10月に人権擁護委員に就任されてから現在に至るまで、子どもの人権教室や人権啓発活動、人権相談活動に精力的に取り組まれ、人権教育を通じて、南国市の子どもの健全育成に貢献されました。

また、平成22年12月からは、民生委員・児童委員としても活動され、子どもや子育て家庭の身近な相談相手として地域福祉を支える重要な役割を果たされるとともに、平成23年4月からは南国市男女共同参画推進委員会の委員も務められました。

高知地方裁判所調停委員・高知家庭裁判所調停委員としても長く活動をされており、公平・中立な第三者として紛争当時者の解決を導く任務に従事されています。

培われた抱負な知識をもとに、子どもから一般市民の相談員として幅広く活動を行うなど南国市の社会福祉の増進に多大な貢献をされました。